

教育課程編成上の基本的事項		本校又は分校の別 (分校名は名称記入)	全日制、定時制 又は通信制の別	学科名	生徒数		
1年次は、必履修科目の学習に重点を置く。2・3年次は、幅広い選択が可能となるよう、各学科に共通する各教科・科目と、主として専門学科において開設される各教科・科目及び学校設定科目を開設し、生徒の多様な興味・関心や進路等に応じた学習の深化を図る。					男	女	計
		本校	全日制	普通科	40	120	160

教科・科目等	類型 年次 学級数	単位制			計	
		1	2	3		
		4 (6)	4 (5)	4 (5)		
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	②			2
		言語文化	②			2
		論理国語		▼2	→▼(2・4)	4・6
		文学国語		2	→2	4
		古典探究		2	→2	4
	地理歴史	地理総合	②			2
		地理探究		2	→2	4
		歴史総合	②			2
		日本史探究		2	→2	4
		世界史探究		2	→2	4
	公民	公民		②		2
		政治・経済			2	2
		※時事教養			2	2
		数学				
	数学	数学Ⅰ	③			3
		数学Ⅱ		▼(4・★2)	→★2	4
		数学Ⅲ			4	4
		数学A	▼2		2	2・4
		数学B		2	2	2・4
数学C				2	2	
※数学探究				2	2	
理科	物理基礎		②		2	
	物理			4	4	
	化学基礎	②	2		2・4	
	化学			4	4	
	生物基礎	②	2		2・4	
	生物		2	→2・4	4・6	
	地学基礎		②		2	
	※化学探究			2	2	
保健体育	※生物探究			2	2	
	体育	③	→③	→②	8	
	保健	①	→①		2	
	※スポーツ科学Ⅰ		2		2	
※レクリエーションスポーツ			2	2		

教科・科目等	類型 年次 学級数	単位制			計	
		1	2	3		
		4 (6)	4 (5)	4 (5)		
各学科に共通する各教科・科目	芸術	音楽Ⅰ	②			2
		音楽Ⅱ		2		2
		音楽Ⅲ			2	2
		美術Ⅰ	②			2
		美術Ⅱ		2		2
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	③			3
		英語コミュニケーションⅡ		▼4		4
		英語コミュニケーションⅢ			▼4	4
		論理・表現Ⅰ	▼2			2
		論理・表現Ⅱ		2		2
		論理・表現Ⅲ			2	2
		※実用英語			2	2
	家庭情報		②		2	
	家庭	家庭基礎		②		2
		情報Ⅰ	②			2
		保育基礎			2	2
		ファッション造形基礎		2		2
	音楽美術	フードデザイン			2	2
		音楽理論		2		2
演奏研究				2	2	
美術	絵画			2	2	
	ビジュアルデザイン			2	2	
総合的な探究の時間		①	①	①	3	
自立活動			1	1	2	
日本語指導		1	1	1	3	
単位数合計		31~32	29~33	29~33	89~98	
特別活動	ホームルームの週時数	1	1	1	3	

特別活動	指導計画の概要	ホームルーム活動：年間指導計画のもとに、高校生活の充実を図る。 生徒会活動：自発的に活動し、リーダーシップを発揮できる生徒の育成を図る。 学校行事：文化祭や体育大会など、体験的活動及び勤労体験学習の充実を図る。
------	---------	---

*週5日の授業日のうち、7コマ以上を設定している授業日数(2)日

- 注1 単位制による課程である。1年次は全員を対象に、2・3年次においては希望者を対象に週2日の7限授業を計画している。このことにより、1年次は全員が31単位の履修を、2・3年次においては29単位から32単位の履修を可能としている（LHRは含まない）。単位数合計の欄の29~32は、このことを示す。
- 注2 2・3年次の各科目の単位数の欄の2・4等の表示は、2単位または4単位の講座が開設されることを示す。また、計の欄の4・6等の表示は、3年間の修得単位数の計が4単位または6単位になることを示す。
- 注3 表中の○で囲んだ数字は各年次における必履修の科目の単位数を示す。▼は該当年次において全員が共通に履修することを示す。※印は学校設定科目を示す。1年次では2単位分を、2年次では12~14単位分を、3年次では18~20単位分を、それぞれ各年次で選択可能な科目から選択する。
- 注4 〔印は、その中から1科目を選択することを示す。→印は継続履修を示す。
- 注5 2年次に数学Ⅱを2単位履修する者は、3年次に継続履修しなければならない(★印)。3年次に数学Ⅱを履修する者は、数学Ⅲは履修できない。3年次に数学Bを履修する者は、2年次で履修済みの者に限る。
- 注6 3年次に物理を履修する者は、2年次に物理基礎を履修済みの者に限る。2年次に生物基礎を履修する者は、生物を履修することはできない。
- 注7 I、II、IIIを付した科目の履修については、履修の順序に従って履修するものとする。
- 注8 「自立活動」は、学校教育法施行規則第140条に基づき設定する障害に応じた特別の指導であり、通級による指導（自立活動）である。2・3年次において最大2単位の履修が可能である。その単位の認定については、増加単位による認定とする。
- 注9 「日本語指導」は、学校教育法施行規則第86条の2に基づく特別の指導であり、生徒の実態に応じて実施する。その単位の認定については、増加単位による認定とする。